yamada

会社案内
Corporate Profile

株式会社ヤマダコーポレーション

企業理念

堅実で公正な企業活動を通じて、

お客様のニーズ、社員の喜び、株主の期待、

産業と社会の発展に誠実に取り組む

当社は1990（平成2）年に『山田油機製造株式会社』から『株式会社ヤマダコーポレーション』へと社名を変更した時に現在のロゴに変更して現在まで使用しております。
2015年に、多重的な意味を含み持つ"シンボルマーク"を新たに制定いたしました。

本 社

相模原工場

株式会社ヤマダコーポレーション
代表取締役社長
山田 昌太郎

次の100年に向け、新たなグループビジョン「For the Next Century with YAMADA PRIDE」を掲げスタートした新中期経営計画Phase Ⅰの1年目、そして当社グループの第100事業年度でありましたが、残念ながら、昨年度（2024年4月～2025年3月）は一昨年度から続く売上高、各利益の過去最高値を更新することは出来ませんでした。ただし、期初の予想通りに増配を行い、株主の皆さまへの責任の一つを果たすことが出来ました。

不透明、不確実の度合いが一段と増し、どの方向に進むことが正解に近づけるのか分からない時代になってきておりますが、本年度（2025年4月～2026年3月）について、当社グループは昨年度からの新中期経営計画を着実に進めてまいります。

当社の成長エンジンと位置付けたポンプ事業においては、主力製品のダイアフラムポンプを世界のさまざまな地域や市場へ供給できる体制を築き、それぞれの地域や市場で求められるQualityをきめ細かく提供していくことで、世界のトップブランドを目指します。そのグローバル展開を支える生産体制を整えるべく、新相模原工場を次なる段階に進化させ、人にやさしいデジタル活用で生産性を上げていきたいと考えます。
また、国内の主力事業であるオートモティブ事業は、自動車のEV化など市場やニーズが大きく変質していくことが想定されますが、将来のニーズを予想・捕捉しながら、当社事業の基盤を引き続き支えていきます。
そして、事業全ての中心は「人」。当社の「人財ビジョン」である「変化」「お客様志向」「共創」という3つの価値観を持つ社員を育てながら、次の100年に向け成長の1年にしたいと考えます。

最後に、「生き残るものは、強いものではない、最も賢い種でもない、環境の変化に最も敏感に対応できた種である。（チャールズ・ダーウィン）」まさに、そんな時代になってまいりましたが、本年度もこのことを一番に肝に銘じ、激変する環境にしっかり対応し、これからも益々皆さまに必要とされる企業となる努力をしてまいります。

今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

2025年6月
株式会社ヤマダコーポレーション
代表取締役社長　山田 昌太郎

製品紹介

About Our Products

1905年の創業以来、ヤマダコーポレーションはお客様の作業効率の向上や現場環境の改善を実現するための製品を提供し続けています。安全な液体移送のニーズに応えるエア駆動ポンプをはじめ、オイル・グリースの給油機器、カーメンテナンス機器、作業環境改善機器など、普段目に触れることが少ない製品ばかりですが、様々な産業において働く人々を支えています。

ヤマダのポンプ Since 1905

【ポンプ事業】

ダイアフラムポンプ

ダイアフラムポンプシリーズ

ヤマダのダイアフラムポンプは駆動源がエアのため、揮発性の高い材料や引火性液体の移送、移し替えを防爆対策不要で安全に行うことができます。150種類以上のラインアップから使用条件に応じて最適なポンプを提供し、安全な液体移送のニーズに応えます。

シリーズ製品

- ●口径1/4"～1"小型ポンプ
- ●口径1-1/2"～3"大型ポンプ
- ●フッ素樹脂製ケミカルポンプ
- ●サニタリーダイアフラムポンプ

ドラムポンプ／サイホンポンプ

ピストン(レシプロ)ポンプシリーズ

ヤマダのエア駆動式ピストンポンプは、水やオイルなどの粘度の低い材料から、グリースや接着剤などの粘度の高い材料まで効率よく移送でき、バルブの操作だけで吐出量の調整やポンプの停止/再起動が可能です。オプション品を使用することで使用用途は更に広がります。

シリーズ製品

- ●ドラムポンプ／サイホンポンプ
- ●分割型ドラムポンプ オイルポンプキット
- ●140型250型高粘度ポンプユニット
- ●ペール缶用高粘度ポンプ

電動式グリースガン／ハンドグリースガン

グリースガンシリーズ

ヤマダの製品として世の中に最も普及しているグリースガンは、様々な作業環境・条件に合うよう手動式・電動式・エア駆動式と幅広いバリエーションを展開しています。ノズルやカートリッジグリースなどのオプションも充実しており、長年多くのお客様に信頼されています。

シリーズ製品

- ●レバー式ハンドグリースガン
- ●電動式グリースガン
- ●エア式グリースガン
- ●ノズル・マイクロ®ホース

グリース用／オイル用 ハンドバケットポンプ

ルブリケーション機器

ヤマダが製造した初めてのポンプでもあるグリースポンプは、レバーの操作で給脂ができるため、場所を選ばず作業が可能です。同じく長い歴史を持つエア駆動ポンプ搭載のSKRシリーズの他、電動タイプも取り揃え、様々な分野のメンテナンス作業で活躍しています。

シリーズ製品

- ●グリース用／オイル用 ハンドバケットポンプ
- ●グリース用／オイル用 エアパワードポンプ
- ●ルブドラムセット（給油台車）

品質方針

当社は【顧客満足第一】を経営理念とし、その実行の為に下記の品質方針を定め、高品質の製品・サービスを提供し続けることを宣言いたします。

品質方針 1

お客様のご要求にお応えすることが出来るよう、関連する各部門にて品質を意識した仕事の取組みに努めます。（品質・納期・価格・開発・サービス）

品質方針 2

品質方針に基づき各部門にて品質目標を設定しその実施状況、達成度を計りながらその結果を管理し、品質マネジメントシステムの有効性を確認しながら継続的な改善を実施します。

品質方針 3

提供する製品・サービスに要求される各種の法規制・基準を順守することはもとより企業としての高い倫理性を追求します。

品質方針 4

お客様から信頼される会社、社会に認められる会社となるべく、常に意識改革と自己研鑽に努め、会社を発展させることに挑戦し続けます。

ダイアフラムポンプ

フロンガス交換機

局所排気装置

【カーメンテナンス事業】

エアキャリー／フロンガス交換機

自動車用整備機器

ヤマダでは、エンジンオイル交換機、タイヤ用エアインフレーター、フロンガス交換機など、自動車整備に欠かせない各種機器の展開を行っています。自動車ディーラーやガソリンスタンド等多くの場所に導入され、自動車の安全向上に貢献しています。

シリーズ製品

- ●エアキャリー
- ●オイルドレン
- ●ATF/CVTFチェンジャー
- ●フロンガス交換機

YSRシリーズ

ホースリールシリーズ

ヤマダのホースリールシリーズは、エア、オイル、グリース、水などを提供する自動巻取り式のリールです。作業場の天井や壁面、床面に設置し、簡単に引き出し・巻き戻しができるため、作業効率が良く、整備工場や生産現場、漁港など、幅広い現場で使用されています。

シリーズ製品

- ●YRシリーズ（エア、コード、制御）
- ●YSRシリーズ（エア、水、オイル、高圧温水、グリース）
- ●ステンレスホースリール（水、温水、高圧温水）
- ●コントロールバルブ（メカニカルバッチメーター）

【作業環境改善事業】

電動式排気ホースリール

車両排気ガス排出システム

ヤマダの排気ガス排出システムは、自動車整備工場やガレージなどの屋内で、エンジンをかけて整備する際やアイドリングが必要な際に、車両のマフラーに直接取り付け、排気ガスを屋外へ排出するシステムです。全国各地の消防署でも採用されています。

シリーズ製品

- ●電動式排気ホースリール
- ●簡易型排気ホースシングル・ダブル
- ●排気ファン
- ●フィルターボックス

溶接ヒューム・微細粉塵回収装置

局所排気装置

作業者の安全のため、工場や作業場、実験室等、有害物質が発生する場所に設置が必要な局所排気装置。ヤマダのヒュームコレクター・FBMシリーズは、溶接ヒュームの回収・排出に最適な集塵装置で、有害物質を濾過・排出し、安全で清潔な作業環境を実現します。

シリーズ製品

- ●溶接ヒューム・微細粉塵回収装置
- ●アーム型溶接ヒューム・微細粉塵回収装置

当社はISO9001の認証取得、EC指令規格の適合宣言を行っております

JQA-QMA14149　091

ISO9000シリーズとは、ISO（International Organization for Standardization）国際標準化機構によって1987年に制定された品質管理及び品質保証の国際規格のことです。ISO9000シリーズの認証取得には、生産の仕組みや品質の仕組みなどが評価され、それに適合している企業が認証されるもので、お客様の要求に応える規格であるといえます。

CEマークは欧州共同体閣僚理事会（EC指令=EC Directive）が示す安全規制に適合した製品だけに張り付けできます。EC市場でもISO9000シリーズの取得が国際的な流れですが、EC域内に輸出する場合このマークが必要となります。ISOと違うのは認証取得するのではなく企業が自らEC指令規格の適合を宣言するものです。

製品紹介

About Our Products

1905年の創業以来、ヤマダコーポレーションはお客様の作業効率の向上や現場環境の改善を実現するための製品を提供し続けています。安全な液体移送のニーズに応えるエア駆動ポンプをはじめ、オイル・グリースの給油機器、カーメンテナンス機器、作業環境改善機器など、普段目に触れることが少ない製品ばかりですが、様々な産業において働く人々を支えています。

ヤマダのポンプ Since 1905

【ポンプ事業】

ダイアフラムポンプ

ダイアフラムポンプシリーズ

ヤマダのダイアフラムポンプは駆動源がエアのため、揮発性の高い材料や引火性液体の移送、移し替えを防爆対策不要で安全に行うことができます。150種類以上のラインアップから使用条件に応じて最適なポンプを提供し、安全な液体移送のニーズに応えます。

シリーズ製品

- ●口径1/4"～1"小型ポンプ
- ●口径1-1/2"～3"大型ポンプ
- ●フッ素樹脂製ケミカルポンプ
- ●サニタリーダイアフラムポンプ

ドラムポンプ／サイホンポンプ

ピストン(レシプロ)ポンプシリーズ

ヤマダのエア駆動式ピストンポンプは、水やオイルなどの粘度の低い材料から、グリースや接着剤などの粘度の高い材料まで効率よく移送でき、バルブの操作だけで吐出量の調整やポンプの停止/再起動が可能です。オプション品を使用することで使用用途は更に広がります。

シリーズ製品

- ●ドラムポンプ／サイホンポンプ
- ●分割型ドラムポンプ オイルポンプキット
- ●140型250型高粘度ポンプユニット
- ●ペール缶用高粘度ポンプ

電動式グリースガン／ハンドグリースガン

グリースガンシリーズ

ヤマダの製品として世の中に最も普及しているグリースガンは、様々な作業環境・条件に合うよう手動式・電動式・エア駆動式と幅広いバリエーションを展開しています。ノズルやカートリッジグリースなどのオプションも充実しており、長年多くのお客様に信頼されています。

シリーズ製品

- ●レバー式ハンドグリースガン
- ●電動式グリースガン
- ●エア式グリースガン
- ●ノズル・マイクロ®ホース

グリース用／オイル用 ハンドバケットポンプ

ルブリケーション機器

ヤマダが製造した初めてのポンプでもあるグリースポンプは、レバーの操作で給脂ができるため、場所を選ばず作業が可能です。同じく長い歴史を持つエア駆動ポンプ搭載のSKRシリーズの他、電動タイプも取り揃え、様々な分野のメンテナンス作業で活躍しています。

シリーズ製品

- ●グリース用／オイル用 ハンドバケットポンプ
- ●グリース用／オイル用 エアパワードポンプ
- ●ルブドラムセット（給油台車）

品質方針

当社は【顧客満足第一】を経営理念とし、その実行の為に下記の品質方針を定め、高品質の製品・サービスを提供し続けることを宣言いたします。

品質方針 1

お客様のご要求にお応えすることが出来るよう、関連する各部門にて品質を意識した仕事の取組みに努めます。（品質・納期・価格・開発・サービス）

品質方針 2

品質方針に基づき各部門にて品質目標を設定しその実施状況、達成度を計りながらその結果を管理し、品質マネジメントシステムの有効性を確認しながら継続的な改善を実施します。

品質方針 3

提供する製品・サービスに要求される各種の法規制・基準を順守することはもとより企業としての高い倫理性を追求します。

品質方針 4

お客様から信頼される会社、社会に認められる会社となるべく、常に意識改革と自己研鑽に努め、会社を発展させることに挑戦し続けます。

ダイアフラムポンプ

フロンガス交換機

局所排気装置

【カーメンテナンス事業】

エアキャリー／フロンガス交換機

自動車用整備機器

ヤマダでは、エンジンオイル交換機、タイヤ用エアインフレーター、フロンガス交換機など、自動車整備に欠かせない各種機器の展開を行っています。自動車ディーラーやガソリンスタンド等多くの場所に導入され、自動車の安全向上に貢献しています。

シリーズ製品

- ●エアキャリー
- ●オイルドレン
- ●ATF/CVTFチェンジャー
- ●フロンガス交換機

YSRシリーズ

ホースリールシリーズ

ヤマダのホースリールシリーズは、エア、オイル、グリース、水などを提供する自動巻取り式のリールです。作業場の天井や壁面、床面に設置し、簡単に引き出し・巻き戻しができるため、作業効率が良く、整備工場や生産現場、漁港など、幅広い現場で使用されています。

シリーズ製品

- ●YRシリーズ（エア、コード、制御）
- ●YSRシリーズ（エア、水、オイル、高圧温水、グリース）
- ●ステンレスホースリール（水、温水、高圧温水）
- ●コントロールバルブ（メカニカルバッチメーター）

【作業環境改善事業】

電動式排気ホースリール

車両排気ガス排出システム

ヤマダの排気ガス排出システムは、自動車整備工場やガレージなどの屋内で、エンジンをかけて整備する際やアイドリングが必要な際に、車両のマフラーに直接取り付け、排気ガスを屋外へ排出するシステムです。全国各地の消防署でも採用されています。

シリーズ製品

- ●電動式排気ホースリール
- ●簡易型排気ホースシングル・ダブル
- ●排気ファン
- ●フィルターボックス

溶接ヒューム・微細粉塵回収装置

局所排気装置

作業者の安全のため、工場や作業場、実験室等、有害物質が発生する場所に設置が必要な局所排気装置。ヤマダのヒュームコレクター・FBMシリーズは、溶接ヒュームの回収・排出に最適な集塵装置で、有害物質を濾過・排出し、安全で清潔な作業環境を実現します。

シリーズ製品

- ●溶接ヒューム・微細粉塵回収装置
- ●アーム型溶接ヒューム・微細粉塵回収装置

当社はISO9001の認証取得、EC指令規格の適合宣言を行っております

JQA-QMA14149　091

相模原工場：下記製品の設計・開発、製造、販売及び修理サービス
本社：下記製品の販売及び修理サービス
1.自動車整備機器
2.一般産業向け空気圧駆動、油圧駆動、電気駆動ポンプ及び関連機器

ISO9000シリーズとは、ISO（International Organization for Standardization）国際標準化機構によって1987年に制定された品質管理及び品質保証の国際規格のことです。ISO9000シリーズの認証取得には、生産の仕組みや品質の仕組みなどが評価され、それに適合している企業が認証されるもので、お客様の要求に応える規格であるといえます。

CEマークは欧州共同体閣僚理事会（EC指令=EC Directive）が示す安全規制に適合した製品だけに張り付けできます。EC市場でもISO9000シリーズの取得が国際的な流れですが、EC域内に輸出する場合このマークが必要となります。ISOと違うのは認証取得するのではなく企業が自らEC指令規格の適合を宣言するものです。

会社概要　About Our Company

当社は、1905年の創業以来、100年以上の歴史を持つ、液体移送の専門メーカーです。創業時からの「お客様の立場に立った製品づくり」をより広く、より多くのお客様へと地道に展開してきた結果、現在では日本国内はもとより、アメリカ、欧州、中国、タイにも拠点を設立し、全世界80カ国に代理店を持つグローバル企業に変革を遂げています。ヤマダの製品は世界の至る所で社会のインフラを支え続けています。

◎企業情報

- 商　　号：株式会社ヤマダコーポレーション
- 創　　立：1939年12月20日
- 資 本 金：6億円
- 代表取締役社長：山田 昌太郎
- 従業員数：グループ合計 346名（2025年3月31日現在）
- 売 上 高：連結決算 14,628百万円
  単独決算 10,108百万円（2025年3月31日）
- 売上高構成比：オートモティブ部門：24.2%
  インダストリアル部門：63.8%
  その他：12.0%
  （2025年3月31日現在）

◎事業内容

- ハンドポンプ、バケットポンプ、ルブリケーター等のオイル・グリースを供給する潤滑給油機器
- タイヤサービス機器、排気ガス排出システム、フロンガス関連機器等の環境整備機器
- 各種産業分野におけるオイル・グリースをはじめ塗料・接着剤・インキ・化学薬品等の流体を圧送するためのエアポンプやダイアフラムポンプ及びそのシステム化製品

ヤマダコーポレーションのSDGsへの取り組み

ヤマダコーポレーションが行っている事業活動や地域活性化の推進等は、以下のとおりSDGs（2015年に国連が採択した持続可能な開発目標）17の目標のうち9つの目標にあてはまります。
ヤマダコーポレーションは今後も自社だけでなく地域社会と協働してSDGsに貢献できる取組みを行ってまいります。
ヤマダコーポレーション相模原工場は〈さがみはらSDGsパートナー〉に認定されております。

沿 革

1905
故山田重次郎が東京都芝区（現港区）新堀町に工場を設け、バルブ及びコック類の製造を開始。

1923
故山田正太郎が同工場を継承し、グリースポンプの製造に着手。

1939
（株）東京山田油機製作所（資本金18万円）に改組。

1947
商号を山田油機製造株式会社に改称。

1962
本社を大田区馬込東4丁目（現所在地）に移転（5月）。
東京証券取引市場第二部に上場する（9月）。

1963
神奈川県相模原市に主力工場として新工場建設。

1969
資本金を6億円に増資。

1986
オランダにYAMADA EUROPE B. V. を設立（6月）。
アメリカにYAMADA AMERICA, INC. を設立（11月）。

1990
シンボルマークを「ヤマダのポンプ」から yamada に変更（3月）。
商号を株式会社ヤマダコーポレーションに変更（10月）。

1996
ISO9001の認証を取得する。

YAMADA GROUP

◎国内拠点

- 本社
- 営業所
  - 札幌営業所
  - 仙台営業所
  - 東京営業所
  - 名古屋営業所
  - 大阪営業所
  - 広島営業所
  - 福岡営業所

◎工場・子会社

相模原工場
〒252-0212
神奈川県相模原市中央区宮下1-2-38

株式会社ヤマダプロダクツサービス
〒252-0131
神奈川県相模原市緑区西橋本3-12-13
Web: https://www.yps-sagami.co.jp/

株式会社ヤマダメタルテック
〒252-0131
神奈川県相模原市緑区西橋本3-12-9

◎海外拠点

YAMADA AMERICA,INC.
955 E.Algonquin Rd., Arlington Heights, IL 6005, U.S.A
Web: https://www.yamadapump.com/

YAMADA EUROPE B.V.
Aquamarijnstraat 50, 7554 NS Hengelo(O), The Netherlands
Web: https://www.yamada-europe.com/

雅玛达(上海)泵业贸易有限公司
上海市浦東新区祖沖之路1500号12号
Web:https://www.yamadapump.cn/

YAMADA (THAILAND) CO.,Ltd.
41179 Moo 6, (Bangna-Trad Road Km.16.5,) Bangcha-long,
Bangplee, Sumutprakarn 10540, Thailand
Web: https://www.facebook.com/yamadathailandofficial/

2000～

2004
EC指令規格の適合を宣言する。

2005
創業100年となる。

2007
中国にヤマダ(上海)ポンプ貿易有限公司を設立。

2014
タイ・バンコクに駐在員事務所を開設。

2016
タイにYAMADA(THAILAND)Co.,Ltd.を設立。
タイのバンコク駐在員事務所を閉鎖。

2022
相模原工場をリニューアル

株式会社ヤマダコーポレーション

https://www.yamadacorp.co.jp

本社　〒143-8504 東京都大田区南馬込1-1-3

札幌営業所　〒062-0002 北海道札幌市豊平区美園二条6-3-16
東京営業所　〒143-8504 東京都大田区南馬込1-1-3
大阪営業所　〒536-0021 大阪府大阪市城東区諏訪1-2-20
福岡営業所　〒812-0888 福岡県福岡市博多区板付5-18-14
仙台営業所　〒981-3137 宮城県仙台市泉区大沢2-2-3
名古屋営業所　〒463-0052 愛知県名古屋市守山区小幡宮ノ腰7-38
広島営業所　〒731-5128 広島県広島市佐伯区五日市中央3-3-9
相模原工場　〒252-0212 神奈川県相模原市中央区宮下1-2-38

【弊社HPはこちら!】

※本誌に記載する製品は改良等により予告なしに変更することがありますのでご了承下さい。

改訂　2025.09